

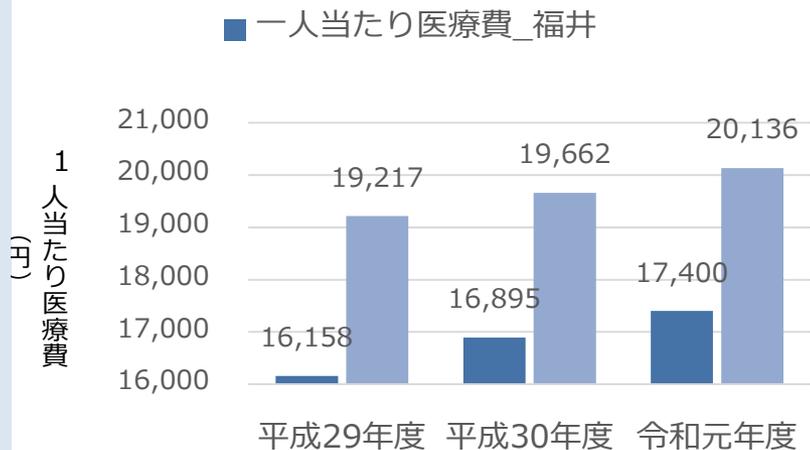
# 歯科定期健診（受診）の定着に向けて

# 1. 協会けんぽ福井支部の歯科受診の傾向

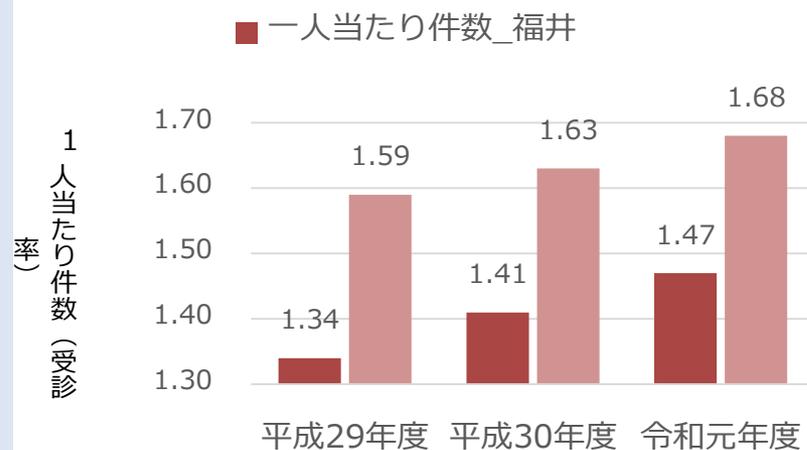
- 一人当たりの歯科受診分医療費（歯科受診分総医療費÷加入者数）
- 一人当たりの歯科受診率（歯科受診分レセプト総件数÷加入者数）

・平成29年度から令和元年度にかけて全国的に増加傾向だが、福井支部は全国下位。

3年連続全国47位



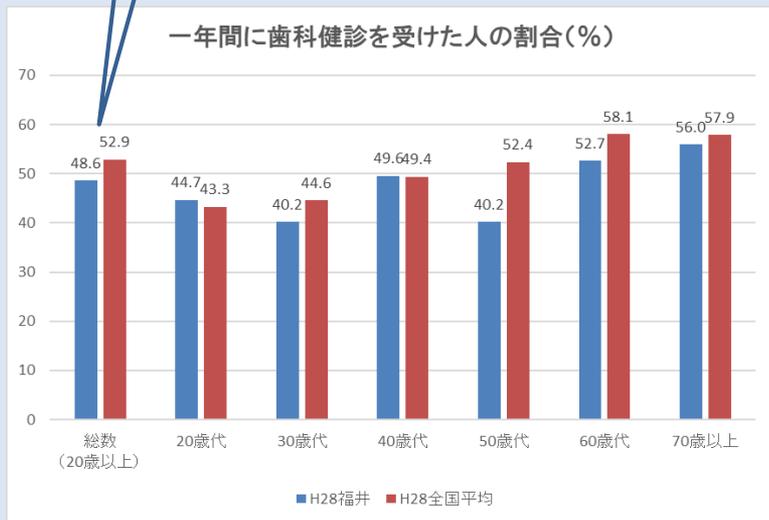
3年連続全国43位



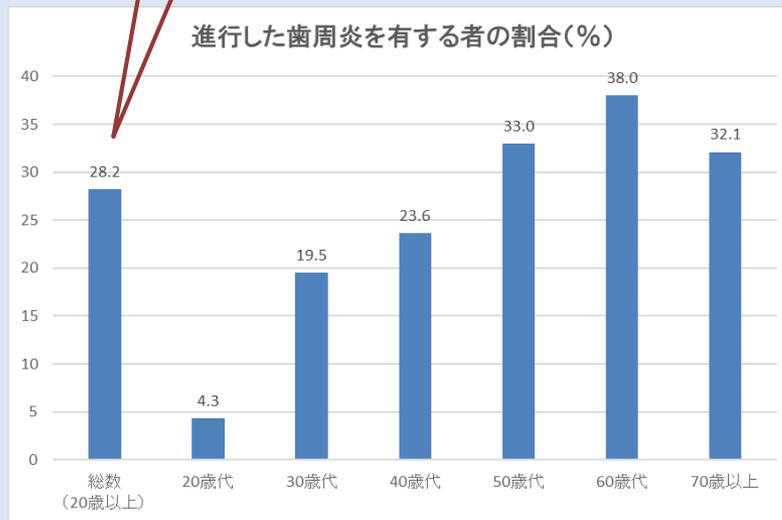
# 1. 協会けんぽ福井支部の歯科受診の傾向

- 一年間に歯科健診を受けた人の割合（出典：平成28年度国民および県民健康・栄養調査）
  - 進行した歯周炎を有する者の割合（出典：平成28年度県民健康・栄養調査）
- ・ 歯科健診を受診している方は全国平均以下で、治療が必要な方も少なくない。

福井県は5割以下



約3割の方が進行した歯周炎



# 1. 協会けんぽ福井支部の歯科受診の傾向

全国平均と比較し、医療費や受診率は低いですが、潜在的に治療が必要な加入者は多い。

## ■福井支部 事業所歯科健診実績

実施年度	実施社数	受診者数	有所見率
平成28年度	2	26	57.7%
平成29年度	5	152	38.2%
平成30年度	11	161	37.9%
令和元年度	7	199	60.3%
令和2年度	3	38	42.1%
合計	28	576	<b>46.9%</b>

## ■事業所歯科健診判定結果

1	異常なし	良好です
2	要指導	歯肉に軽い炎症があります
3	要治療	歯周病の治療が必要です
4	要治療	むし歯の治療が必要な歯があります
5	要治療	歯が抜けたままになっています
6	要精査	口腔内に気になる症状があります

有所見者

- 定期的な歯科受診を定着させるため、3つの事業を実施。

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| ① 歯科講習会           | } 広報の実施状況については、P11参照。 |
| ② 事業所歯科検診         |                       |
| ③ 糖尿病リスク保有者への受診勧奨 |                       |



## ◆目標値◆ 29社 580名 (歯科受診者 190名)

(目標)

講習会実施月	事業所数	受講者数	①検査者数	②陽性者数	陽性割合 (②÷①)	③検査後 受診者数 (②×0.5)	④案内 対象者数 (②-③)	勸奨実施月	⑤勸奨後 受診者数 (④×0.3)	受診者数 合計 (③+⑤)
令和3年7月	2社	41名	36名	24名	66.7%	12名	12名	令和3年11月	4名	16名
令和3年8月	1社	14名	14名	6名	42.9%	3名	3名	令和3年12月	1名	4名
令和3年9月	3社	41名	40名	28名	70.0%	14名	14名	令和4年1月	4名	18名
令和3年10月	2社	43名	41名	25名	61.0%	12名	13名	令和4年2月	4名	16名
令和3年11月	1社	32名	31名	19名	61.3%	9名	10名	令和4年3月	3名	12名
令和3年12月 <sup>※</sup>	2社	45名						令和4年4月		
<b>累 計</b>	<b>11 社</b>	<b>216 名</b>	162 名	102 名	<b>63.0%</b>	50名	52名		16名	<b>66名</b>

※令和3年12月2日及び16日実施予定。受講者数は予定人数。

- 目標達成割合 事業所数：37.9% 受講者数：37.2%
- 陽性者割合 63.0%
- 陽性者のうち、歯科の受診がない方に受診の案内文書を送付。  
 目標：陽性者の50%が検査実施後2か月以内に受診  
 受診案内後30%が勸奨実施翌月より2か月間以内に受診

## ■ 概要

健診者数	原則10名以上
健診時間	1人あたり5分程度
費用	受診者数に応じて負担あり
実施内容	① 受診者が問診形式にて記録票に記入（歯をみがくと血がでるか等） ② 上記回答結果を踏まえ、受診者の口腔内を診査のうえ、むし歯、歯周病の有無を判定
結果通知	判定結果を記録票にて通知（3頁目参照）

- 判定結果が「要治療」「要検査」となった方のうち、2か月以内に歯科の受診がない方に対し、健診実施月より4か月後に受診の案内文書を送付
- 簡易唾液潜血検査に比べ、高精度の判定が可能

**事業所歯科健診のご案内**

健康な身体は、健康なお口から

健康な歯が多いほど、長生きであると言われています。歯が失われていると、よく噛めないため消化吸収が悪くなる他、食べられるものも限られることで、バランスの取れた食事が難しくなります。むし歯や歯周病は、食習慣、肥満、糖尿病、ストレスなどと深く関係している「お口の生活習慣病」です。全身の健康、QOL(生活の質)を保つためにも、健康な歯を長持ちさせることが大切です。協会けんぽ福井支部では、働いている人たちの健康増進対策の一環として、出張歯科健診・簡易唾液潜血検査の実施をおススメしています。

**事業主さまのメリット**

従業員の健康管理  
歯科健診の実施で、早期発見・早期治療および予防が行われれば、むし歯や歯周病による急な痛みで、予定外の欠勤や遅刻を防ぐことが可能です。また、痛みを軽減することで、仕事のパフォーマンスが低下し、生産性が低下することから労働災害の危険性も増加します。歯の健康は、経営効率・生産性の向上にもつながり、事業所にとって有益です。

**従業員さまのメリット**

むし歯や歯周病の早期発見  
むし歯や歯周病の発見・治療が遅れると、大切な歯を失うだけでなく、治療期間が長期化し、治療費の負担増にもつながります。また、歯周病は全身の病気とも関係しており、これらのリスク軽減につながります。

協会けんぽ福井支部で実施している事業所歯科健診については、パンフレットの中をご覧ください。

**出張歯科健診と簡易唾液潜血検査**

協会けんぽ福井支部では、福井県歯科医師会と連携して「出張歯科健診」と「簡易唾液潜血検査」の2種類を実施しています。それぞれの概要は以下のとおりです。

**1. 出張歯科健診**

歯科医師が事業所さまを訪問し、むし歯や歯周病、その他の口腔疾患を診査し、検査結果に基づいて口腔衛生指導を行います。お口の中を直接検査するため、簡易唾液潜血検査に比べ精度の高い結果となります。詳しい検査と歯科医による相談(アドバイス)を希望される事業所さまにおススメです。

**2. 簡易唾液潜血検査**

歯周病の症状の1つである歯肉からの出血を検査するものです。出張歯科健診とは違い、お口の中を直接検査することなく、唾液中の出血(出血)で歯周病の危険性を判定する一環のスクリーニングです。検査結果が陽性の方は、歯周病の危険性が高いことを示します。検査時間が短いため、製造業等で生産ラインを止めることが難しい事業所さま、従業員の数が多い事業所さまにおススメです。※食事または歯みがきにより出血している可能性がありますので、食事または歯みがきから2時間以上経過後の検査をお願いします。

**比較表**

	出張歯科健診	簡易唾液潜血検査
費用	事業所にてご負担ください。費用は人数により異なりますので、協会けんぽまでお問い合わせください。	
内容	歯科口腔全般	歯周病のみ
受診時間	1人あたり5分程度	1人あたり1分程度
最小実施人員	10名	

※出張歯科健診・簡易唾液潜血検査の実施にあたり、事業所さまに「お名前」「職名」「椅子」「アルコール消毒用品」のご準備をお願いします。出張歯科健診の実施が行えるお部屋の確保が難しい場合は、歯科健診車を利用することも可能です。

**歯周病セルフチェック**

次の項目に当てはまるものに、☑️チェックしてみてください

- 歯ぐきに赤く腫れた部分がある
- 口臭がなんとなく気になる
- 歯ぐきがやせてきた
- 歯と歯の間にものがはさまりやすい
- 歯をみがいた後、歯ブラシに血がついたり、すすいだ水に血が混じることがある
- 歯と歯の間の歯ぐきが、腫れぼたくなっている
- とくとき、歯が浮いたような感じがする
- 指でさわってみて、少しグラつく歯がある
- 歯ぐきから膿が出ることがある

**判定**

**チェックがない場合**  
これからもきちんとした歯みがきを心がけましょう。出張歯科健診では、歯科医師からのアドバイスも受けられますので、活用をご検討ください。

**チェックが1〜2個の場合**  
歯周病の可能性がります。まず、歯みがきの仕方を見直しましょう。出張歯科健診または簡易唾液潜血検査で実際の状況をチェックしてみましょう。

**チェックが3個以上の場合**  
初期あるいは中等度歯周炎以上に歯周病が進行している恐れがあります。今回の出張歯科健診を有効にご活用いただき、ご自分の歯の状況を把握してみてください。

## 2 - ② 事業所歯科健診

### ◆目標値◆ 12社 240名 (歯科受診者 80名)

(目標)

歯科健診施月	事業所数	①受診者数	②有所見者数	有所見者割合 ②/①	③検査後 受診者数 (②×0.5)	④案内 対象者数 (②-③)	勸奨実施月	⑤勸奨後 受診者数 (④×0.3)	受診者合計 (③+⑤)
令和3年10月	1社	33名	12名	36.4%	6名	6名	令和4年2月	2名	8名
令和3年11月	1社	14名	6名	42.9%	3名	3名	令和4年3月	1名	4名
<b>累計</b>	<b>2社</b>	<b>47名</b>	<b>18名</b>	<b>38.3%</b>	<b>9名</b>	<b>9名</b>		<b>3名</b>	<b>12名</b>

### \*参考\* 令和2年度実績

事業所数	①受診者数	②有所見者数	有所見者割合 (②/①)	③検査後 受診者数	検査後 受診割合 (③/②)	④勸奨 対象者※ (②-③)	⑤勸奨後 受診者数	勸奨後 受診割合 (⑤/④)	受診者合計 (③+⑤)
3社	38名	16名	<b>42.1%</b>	6名	37.5%	9名	2名	22.2%	<b>8名</b>

※資格喪失者1名を勸奨対象者より除く。

- 目標達成割合 事業所数：16.7% 受診者数：19.6%
- 有所見者割合 38.3%
- 有所見者のうち、歯科の受診がない方に受診の案内文書を送付  
 目標：有所見者の50%が検査実施後2か月以内に受診  
 受診案内後30%が勸奨実施翌月より2か月以内に受診

# 2 - ③ 糖尿病リスク保有者への歯科受診案内

## ■ 概要

送付件数	1,380件
送付日	令和3年7月29日
対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 福井支部加入者で住所地在福井県内であること</li> <li>② 令和元年度の健診結果で「糖尿病にかかる服薬治療中」であること</li> <li>③ 平成31年4月以降の歯科受診が確認できないこと</li> </ul> <p>(①～③全てを満たす方)</p>

- 歯周病と糖尿病が互いに悪影響を及ぼし合うことに注目
- 糖尿病治療者に、より歯科受診の必要性を理解して頂くため、今年度から糖尿病治療者に限定し受診の案内ハガキを送付
- 案内送付後も歯科受診が確認できない対象者に対し、令和3年12月に再度受診案内を送付

郵便はがき

**大切なお知らせは内側にあります。**  
宛名をご確認のうえ、ゆっくりとはがしてご覧ください。  
雨や水にぬれている場合は、乾かしてから開封してください。



料金後納郵便

親展

**保険診療を受けられる皆さまへのお願い**

- 医療機関の受診時はその都度、保険証を提示しましょう。
- 保険証をご使用いただけるのは退職日までです。
- 退職された場合は、すみやかに保険証を事業主にお返しください。

【お問い合わせ先】  
〒910-8541 福井市大手3-4-1 福井放送会館5階  
協会けんぽ福井支部 企画総務グループ  
TEL：0776-27-8301

協会けんぽからの大切なお知らせです。



OPEN



全国健康保険協会 福井支部  
協会けんぽ



福井県医師会 福井県歯科医師会

協会けんぽからの大切なお知らせです

### 1.このハガキをお送りした方

次の①～③いずれも満たしている方にお送りしています

- ① 令和元年度の健診における問診票で糖尿病の治療を受けている(服薬されている)ことが確認された方
- ② 平成31年4月以降に保険診療による歯科医院の受診が確認できない方

### 3. 歯科医院受診をオススメするワケ

食事をすると、インスリンの分泌を促進するインクレチンと呼ばれる消化ホルモンが分泌されます。このホルモンはインスリンの分泌のほかにも、食欲の抑制、胃の働きをやかにする効果があるともいわれており、これらの機能が糖尿病の重症化を予防してくれると考えられています。健康な歯を維持しないと、満足に食事をすることができなくなります。定期的に歯科医院を受診して「お口」の状態を診てもらいましょう。



健診受診の際、「食事を噛んで食べる時の状態」をお聞きした結果、糖尿病のリスクのある方(治療中の方も含みます)は、上のグラフのとおり、歯の状態が良くないことがわかります。

**放っておいたら大変なことになるかも! まずは歯医者さんにご相談を!**



◀糖尿病者の口の中(イメージ)

本状と行き違いで歯科医院を受診されている場合は、ご容赦ください。

### 2. 歯周病と糖尿病の怖い関係

成人の約8割が歯周病と言われています。歯周病は歯ぐきの炎症により腫れてできた歯周ポケットから、歯周病菌が毛細血管に侵入。歯を支える骨が溶けていき、最悪の場合、歯がぐらつき抜けてしまう病状です。

毛細血管に侵入した歯周病菌が全身に運ばれることで、身体の免疫力が低下し、さまざまな病気を引き起こすことが明らかになっています。特に歯周病と糖尿病は互いに悪影響を及ぼし合います。

歯周病と糖尿病の負の連鎖



## 2 - ③ 糖尿病リスク保有者への歯科受診案内

### ■ 実施スケジュール

実施月	実施内容	二次勧奨対象数推
7月	①1回目 1,380件 発送	1,380
8月～11月	②住所不明による郵便未着 17件 ③勧奨前に受診した方 91件 ④勧奨後に受診した方 54件	1,218
12月	二次勧奨 1,218件 発送 受診者割合4.2% {④ ÷ (① - ② - ③)}	

### ◆ 目標値 ◆ 受診者138名 10%

- 二次勧奨送付の2か月後、令和4年2月末までの一次及び二次勧奨による受診者の合計が事業指標
- 令和4年4月に効果測定。併せて、受診者の年齢層、血糖値といったデータを分析、その結果を踏まえ令和4年度事業における受診勧奨の対象者、効果的な勧奨方法、広報等を検討

### \* 参考 \* 令和元年度及び2年度事業実績

対象者	実施年月 (カッコ内は2回目)	送付対象者数 (カッコ内は2回目)	1回目 ※1 受診者数	2回目 ※2 受診者数	⑤合計 受診者数	歯科受診定着率 ※3
① 福井支部加入者で住所地在福井県内であること	令和元年9月 (令和2年2月)	3,784名 (2,116名)	329名 8.7%	116名 5.5%	445名 11.8%	188名 <b>42.2%</b>
② 該当年度の健診結果で「空腹時血糖110mg/dl以上またはHbA1c6.0%以上」						
③ 健診受診年度以降、保険診療による歯科受診が確認できないこと	令和2年9月 (令和3年2月)	3,424名 (3,221名)	280名 8.2%	129名 4.0%	409名 11.9%	192名 <b>46.9%</b>

※1: 対象者のうち、2回目の案内まで(10月～翌年2月)に歯科受診が確認できた人数

※2: 2回目の案内を送付した対象者のうち、案内後2か月以内(3月～4月)に歯科受診が確認できた人数

※3: ⑤のうち、効果測定後1年以内(5月～翌年4月)に歯科受診が確認できた割合(令和2年は5月～9月までの途中経過)

# 参考資料 令和3年度 事業所歯科健診・歯科講習会にかかる広報

広報月	広報媒体	対象者等	広報内容及び実績			
			事業所歯科健診 【目標12件240名】	申込 事業所数	歯科講習会 【目標29件580名】	申込 事業所数
【紙媒体による広報】						
令和3年4月	ダイレクトメール	昨年度講習会実施事業所 32先			●	3
令和3年5月	けんぼPlus	健康保険委員委嘱事業所のうち 被保険者数20～30名の事業所 402先	●		●	1
令和3年6月	けんぼNews		●			
令和3年8月	けんぼPlus	講習会メニューを同封			●	3
令和3年9月	ダイレクトメール	R2年度事業所データにて、被保険者数20 名以上かつ被保険者1人あたりの受診日が 2日/年 未満の事業所 369先 (株)ホクチクの様子を同封)	●	1	●	2
令和3年9月 (順次)	健康経営優良法人 2022案内	健康づくり宣言事業所 864先	●	1	●	
令和3年10月	ダイレクトメール	女性被保険者数20～100名かつ女性の割 合が60%以上の事業所 326先 (乳がん月間に伴う講習会の案内)			●	1
【電子媒体による広報】						
令和3年6月	メールマガジン (定 期)		●		●	
令和3年7月	ホームページ	7/8(株)ホクチクでの講習会取材し、 その様子を掲載			●	
令和3年8月	メールマガジン (随 時)				●	
【電話・訪問による広報】						
随 時		健康づくり宣言事業所勧奨や特定保健指導 訪問の際に案内	●		●	1